

前足部変形に対する矯正手術を受けた患者さんへ

「前足部変形に対する矯正手術の治療成績」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院整形外科では、1998年1月から2026年7月に当科で前足部変形に対する矯正術を行った18歳以上の全患者さんを対象に、カルテ等の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

1998年1月から2026年7月に当科で前足部変形に対する矯正術を行った18歳以上の全患者さんを対象として治療成績を調査します。また、骨の短縮具合や中足骨長のバランスと傷の治癒遅延や治療成績についての調査、再発リスクの検討、術式・リウマチの有無・サルコペニアの有無による治療成績の違いについても調査します。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院整形外科で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報（測定項目）

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

- 1) 患者背景；年齢（手術時、術後評価時）、併存疾患、手術歴、内服歴、リウマチ関連（発症年齢、罹病期間、疾患活動性、抗リウマチ薬）、体組成、臨床検査（血液検査での免疫学的検査、炎症反応）、全身状態、栄養状態、腫脹・疼痛関節数、歩行能力、胼胝（いわゆるタコや魚の目）・潰瘍、身体機能障害評価指標、サルコペニア*
- 2) 画像検査；外反母趾角、第1第2中足骨角、第1第5中足骨角、種子骨偏位度、距骨-第1中足骨角、Calcaneal pitch（踵骨下縁の接戦と踵骨-第1中足骨底面の接線とのなす角）、中足骨長（実際の骨長、全体のバランス）
- 3) その他；日本足の外科学会の足部評価、足部足関節評価質問票（SAFE-Q）追加手術（原因、内容、時期）

*サルコペニア；Asian Working Group for Sarcopenia (AWGS) 2019の診断基準

- a) 低筋量：骨格筋肉指数 $<5.7 \text{ kg/m}^2$ （生体電気インピーダンス法）
- b) 低筋力：握力 $<18 \text{ kg}$
- c) 低身体機能：歩行速度 $<1 \text{ m/s}$

低筋量かつ低筋力もしくは低身体機能を満たす場合、サルコペニアと定義されます。

3. 研究期間

鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2029年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果として、前足部変形に対する矯正術の治療成績を知ることができます。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、すべての研究が終了した日から5年間、もしくは最後の研究結果が論文等で発表された日から3年間のいずれか遅い日まで保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まづくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出くだ

さい。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院整形外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報 that 明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

柳楽 慶太 鳥取大学医学部附属病院 整形外科 講師

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

TEL : 0859-38-6587 / FAX : 0859-38-6589

* この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。
(<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/3294/>)